

# ふくしま 再生 短信

2019/8/6 高校生ボランティアを迎えて



2



## ＊ までいの夏 ＊

2019年8月6日午前11時盛夏の最中、東大農学部サークルまでい（代表・齋藤富子さん）は、前週飯館村を訪ねた埼玉県立高校から3名の高校生を迎えた。

担当教諭の金澤みなみさんに引率された新行内さん、井口さん、榮さん、の3人。最初に齋藤さんから8年前「動物や植物と共存してきた感謝の生活が原発事故で奪われた」という菅野千恵子さんの言葉の迫力が心を打ちましたとお話あり。伊井さんからこの日の取組みの全体像の説明を受け（写真1）、アイソトープ農学教育研究施設（略称RIセンター）の廣瀬農さんの案内で構内を施設に移動（写真2）。全員白衣に着替え靴も履き替えて放射線・

放射能測定について学ぶ（写真3）。核分裂と放射能についての講義も受け、測定室退出時には一人ずつ厳重に線量測定（写真4）。緊張の後の学食の味はまた格別（写真5）。午後は村で採取した土壌試料の処理法につき宇野さんが説明（写真6）。農家から頂いた野菜の試料づくりは土居さんが手ほどき（写真7）。生徒3人揃って神妙にバイアル詰め（写真8）。質量測定は高木さんの出番（写真9）。楽しいおやつのひとつもありました（写真10）。齋藤さんから熱い熱いメッセージ「農学こそ復興の力、ぜひ農学徒を目指してください」（写真11、右端）。（文責&撮影・若林一平）